

第6学年 国語科学習指導案

児童 6年1組 男20名 女9名 計29名
 指導者 藤原正男

ことばに着目して対話を展開することにより、立場や根拠を明らかにし、考えを深める学習活動の工夫

1 単元名 聞き合って考えを深めよう (学習材『償い』サンマーク出版 さだまさし著)

2 単元について

(1) 児童の実態

児童は、これまでに「やまなし」で、友だちとの立場や根拠の相違点や共通点に気を付けて聞き合い、自分の考えを広げたり深めたりする学習をしてきた。その結果、お互いの立場や根拠の相違点や共通点を明らかにしながら聞き合って自分の考えを深めることができるようになってきている。また、できるだけ多くの相手と聞き合う活動を取り入れた学習を行ってきたことで、より多くの考えに触れる良さを実感し、自分の考えを広げたり深めたりすることができるという意識をもっている。

しかし、相手の考えの相違点や共通点を明らかにするために、児童が気を付けていることは、「相手の話をよく聞く。」「頭の中で整理しながら聞く。」といった抽象的なことがほとんどである。このことから分かるように、相手の話した「ことば」に着目して対話を展開していったり、相手の考えをより詳しく知るために質問したりしながら聞き合い、自分の考えを広げたり深めたりする力は十分ではない。

以上のことから、本単元においては、相手の立場を理解し受け止め、相手の「ことば」に着目して相手の考えや理由を確かめたり、質問したりしながら対話を展開させたい。このことを生かし、じっくり対話したりより多くの相手と対話したりすることを通して、自分の考えと比べて聞き合い、考えを深める力を身に付けていきたい。

(2) 主たる指導事項と学習材

本単元の主たる指導事項は、「自分の立場や意図を明らかにして計画的に話し合うこと」である。この力を育てるためには、「立場や根拠を明らかにして話す力」「立場や根拠を比べて聞き合う力」が必要である。本単元では、自分の立場や根拠を明らかにしながら聞き合い、自分の考えを深めることが指導の中心である。

このような力を育てるために、学習材として『償い』(サンマーク出版 さだまさし著)を用いる。主人公のゆうちゃんが交通事故を起こし、一人の命を奪ってしまう。「人殺し あんたを許さない」と彼をののしった被害者の奥さん。それからというもの、彼は人が変わったように働き、奥さんのもとに毎月仕送りをする。そして、7年後その奥さんから手紙が届く。被害者である奥さんの辛く苦しい思い。そして、7年間誠実な謝罪を続けてきたゆうちゃんの思いに心打たれる学習材である。

この学習の中で、相手の「ことば」に着目し、相手の考えや理由を確かめたり質問したりしながら対話をさせたい。じっくり対話したり、より多くの相手と対話したりすることを通して、自分の考えと比べて聞き合い、考えを深める力を高めていくことができるであろう。また、これまでの学習を通して、「命」について考えを深めてきた児童たちにとって、「命」「生き方」についてのお互いの考えが深められ、心の交流を図ることができるであろう。

(3) 指導に当たって

指導に当たっては、次のように進めたい。

みとおす段階では、初発の感想を生かし、児童一人一人に課題意識をもたせる。その上で、意欲的に対話することができるような話題を設定する。

ふかめる段階では、対話活動に入る前に、自分の考えをしっかりとめさせるようにする。そのために、学習材を繰り返し読んだり、初発の感想をふり返ったりしながら話題についての自分の考えを書くことができるようにする。その後、それぞれの考えをお互いに向き合ってじっくり聞き合い、自分の考えを深める。その際、相手の「ことば」に着目して対話を展開させることができるよう意識付けをしっかりと行うようにする。座席での対話の後には、多様な考えにふれ、自分の考えを深めることができるようにするために、自由に相手を見つけ、聞き合う場を設定する。

まとめる段階では、自分の考えの深まりを確かめることができるようにしたい。そのために『償い』の学習全体をふり返っての自分の考えを作文に書かせる。その際、「命」「奥さんの思い」「ゆうちゃんの思い」等、いくつかの観点を与えて書かせるようにする。

3 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・『償い』の内容に関心を持ち、自分の考えと比べながら相手の考えを聞こうとする。

(2) 話すこと・聞くこと

- ・話題について、立場や根拠を明らかにしながら聞き合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

(3) 言語についての知識・理解・技能

- ・自分の立場を明確に表現するための文章の構成を考えて話すことができる。

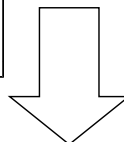
4 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	ウ 言語についての知識・理解・技能
①話し手の内容に関心を持ち、話し手の立場を理解しようとしている。	①立場や根拠の相違点や共通点を自分の考えと比べながら聞いている。 ②相手の話を共感的に受け止めて聞き、ことばに着目しながら対話を展開している。	①自分の立場を明確にするために自分の考えをその理由が伝わるように話している。

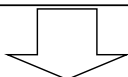
5 学習指導計画（6時間扱い）

【関連する前の単元】『やまなし』
○立場や根拠を明らかにして話したり、聞き返したりする。

【スピーチ】
○自分の考えが伝わるように話の組み立てを考えて話したり、相手の意図を考えながら聞いたりする。



	学習課題	学習活動と時間	評価規準（方法）
みとおす	○『償い』を読んで、感想を書こう。	・『償い』を読み、感想とみんなで話し合いたいと思うことを書く。 ・学習の見通しをもつ。 (1)	アー①自分の感想と友達の感想を比べながら興味を持って聞いている。 (観察・発言)
ふかめる	○話題について、自分の考えをもとう。	・対話して考えたいことを話し合い、話題を決める。 (1) ・話題についての自分の考えをもつ。 (1)	イー①話題にしたいことについて考えている。(観察・発言) アー①話題について、自分の考えを書いている。(学習シート)
	○対話を通して自分の考えを深めよう。	・話題について、相手のことばに着目しながら対話を進める。 ・対話を通してもった自分の考えを発表する。 (1) 本時	イー②相手の話を共感的に受け止め、ことばに着目しながら対話を展開し、自分の考えを深めている。 (発言・観察・学習シート)
まとめる	○『償い』を学習しての自分の考えをまとめよう。	・『償い』を学習しての自分の考えをまとめる。 (1) ・まとめた中で、自分が最も伝えたいことを聞き合う。 (1)	イー①対話したこと等をもとに、自分の考えを書いている。 (学習シート) ウー①自分の考えが明確に伝わるように話している。 (発言)



【生かす単元】 『海の命』
○作品の情景を、叙述に即して想像しながら読むとともに、「命」についての考えを深める。

6 本時の指導

(1) ねらい

相手の話を共感的に受け止め、ことばに着目して相手の考えや理由を確かめたり質問したりしながら対話を展開し、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

(2) 展開

段階	学習活動 ○主発問	時間 (分)	◇学習内容	教師のかかわり (★評価)
み と お す	1 本時の話題を確認する。 — 話題 — ゆうちゃんは許されたと思っ ていいのだろうか。 2 対話の手順を知る。	4	◇対話の手順を知ること。 ①となり同士で対話する。 ②自由に相手を見つけて対話 する ③話題についての考えを書き まとめる。 ④全体で聞き合う	<ul style="list-style-type: none"> どの児童にも本時の学習の手順がよく分かるよう配慮する。 何人と対話できたかではなく、どれほどじっくり聞き合い、伝え合うことができたか、ということが大切であることを確認する。 本時は、お互いの考えを聞き合い、自分の考えを広げたり、深めたりするために対話をするということを確認する。
ふ か め る	3 対話のめあてを知る。 4 対話活動をする。 (1) 話題について ○心の中で繰り返しながら、「なぜ」と思ったことやもっと詳しく知りたいことは納得いくまで質問しましょう。「なるほど」と思ったことは、そのことを相手に伝えたり、お互いの考えを言い合ったりしてお互いの考えを理解し、深めていきましょう。 (2) 対話後の考えを書く。 ○対話をふり返りながら、話題について自分の考えを書きまとめましょう。	5 20 8	◇ことばに着目して相手の考えや根拠を確かめたり質問したりしながら、対話を展開すること。 対話のめあて 〈応じる〉 ○自分の考えとの相違点や共通点に気を付けて聞く。 ○相手の話を共感的に受け止めながら聞き、感心したことや新たに分かったことを伝える。 〈はこぶ〉 ○相手の「ことば」に着目して相手の考えや理由を確かめたり、質問したりしながら対話を進める。 ◇対話をふり返り、自分の考えの変容に気付くこと。	<ul style="list-style-type: none"> そのためのめあてとして、〈応じる〉〈はこぶ〉の2項目3点をめあてとして対話を進めることをできるだけ具体的に示す。 心の中で繰り返しながら聞くこと、共通点や相違点に気を付けて聞くこと、相手の発した「ことば」に着目して質問したり、考えを伝え合ったりすることで互いの考えが広がったり深まったりするのだということを意識付けるようにしたい。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ☆相手の話を受け止めながら「ことば」に着目して聞き質問したり、感想を伝えたりしながら対話を進めているか。 (発言・学習シート) [努力を要する児童への手立て] 相手の話を聞いて、心に残ったことばを手がかりに質問したり自分の考えを伝えたりするように促す。 </div>
ま と め る	5 学習のまとめをする。 ○広がった、深まったと思えたのは、どういう聞き方をしたからですか。	8		<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが「広がった」「深まった」と言えるのはなぜかを本時の対話のめあてに立ち返りながら全体で確かめる。